

オレンジ果汁の不足でリンゴ果汁が代替

FreshPlaza 2023年11月30日

果汁業界は混合飲料のレシピを変更

オレンジ生産量の減少により、濃縮果汁価格が大幅に上昇している。investire.biz(イタリアのビジネス情報サイト)が報じたように、過去数週間で1ポンド当たり4.19米ドルの記録的な水準に達し、ニューヨーク証券取引所で冷凍濃縮オレンジ果汁の先物取引が始まった1996年以来の最高値となった。これによって果汁飲料を製造するための濃縮リンゴ果汁の需要が高まるはずである。

VOGプロダクツ社のディレクターであるクリストフ・タッペイナー氏は、「濃縮オレンジ果汁の価格上昇は世界的な現象である。価格に加えて、ヨーロッパで手に入るオレンジ果汁の量が大幅に減少しており、入手のしにくさも問題である。業界では、マルチビタミン飲料などの混合飲料のレシピを変更して、オレンジ果汁をリンゴ果汁に置き換えている。その結果、消費者の行動が変わり、またスーパーマーケットのオレンジ果汁専用の棚が減少すると考えている」とコメントしている。(以下「」は同氏の発言)

オレンジジュースは、過去には米国の多くの家庭で欠かせない飲料であったが、過去20年間で消費量は次第に減少している。

2023年も終わりに近づいているが、今シーズンを評価することは不可能である。「今年の主なテーマは、原材料の入手可能性と安定した流通経路の重要性であった。原材料が貴重品になりつつあり、それは良いことだ。VOGプロダクツ社は、主なパートナー、すなわちトレンティーノ・アルトアディジェ州の3つの生産者組織と17の協同組合から農産物を調達している。これらの団体は6千世帯以上の生産者を組織している。弊社は、協同組合としてリンゴの調達経路を抑えているため、一年中の出荷を誇っている。これにより、確実性と信頼感が生まれ、弊社の商業的モデルの安定性を支えている。」

タッペイナー氏は最後に、新しい包装及び包装廃棄物規制(PPWR)に関して、「包装の世界はますます重要になり、PPWRのEU指令はこの重要な問題に取り組んでいる。我々は最善の解決策を見つけようと懸命になっている。ほとんどの商品は工場からタンクローリーで出荷される。小さな容器に関しては、環境に配慮した再利用システムを使用している。これらの容器は常に循環流通しており、何度も使用されるため、取引先から好評を得ている」と述べた。

(関連記事)リンゴ収穫量の減少がリンゴ果汁の価格を支える

Mintecglobal 2023年12月1日

中酸度の濃縮リンゴ果汁(Mintecコード: FJ05)のMintecベンチマーク価格(MBP)は現在、前月比で8.5%、前年比で28.8%高い1,900ユーロ/トンと評価されている。世界リンゴ・ナン協会(WAPA)は、欧州のリンゴ生産量を当初予測より4%少ない1,100万トン未満に修正した。欧州最大のリンゴ生産国であるポーランドの2023年のリンゴ生産量は約330万トンと予測されており、WAPAの8月の予測を70万トン下回る。

大部分の加工業者は搾汁を終了し、今シーズンは終わりに近づいている。市場筋によると、ポーランドの濃縮リンゴ果汁の製造量は約23万トンとなる。需要はヨーロッパ全体で旺盛であるが、供給が貿易を制限して市場を不活発にしており、実際リンゴ果汁の大部分は契約済みである。多くのバイヤーは、加工シーズンが終わりに近づいたがって価格が下がることを期待していたが、それは全く起こらなかった。

また、中国ではリンゴの収穫量が例年より少なく、厳しいシーズンを迎えた。市場筋によると、業界では中国の2023年の濃縮リンゴ果汁の製造量を約30万トンと予想しており、これはしばしば50万トンを超える典型的な製造量を大きく下回っている。市場筋によると、中国製の果汁の一部はトルコに輸入され、トルコ国内でブレンドされている。需給が引き締まる中、市場筋は今後数か月の業界に対する強気の期待を示唆している。